

平成30年度入国EPA看護師・介護福祉士候補者
受入れ機関（施設）向け就労前説明会

EPA介護福祉士候補者
標準的な学習プログラムによる
就労開始後の日本語学習方法等

公益社団法人 国際厚生事業団（JICWELS）

<内 容>

第 1 部 『標準的な学習プログラム及び研修の手引き』及び
JICWELSによる学習支援等について

第 2 部 就労開始後の日本語学習方法等について
(主に就労 1 年目の配布教材の使い方等)

＜第 1 部の内容＞

1. 『標準的な学習プログラム及び研修の手引き』

1-1. 特徴

1-2. 『標準的な学習プログラム』での就労年数毎の学習目標・内容

1-3. 受入れ施設による研修へのかかわり方のポイント

1-4. 学習時間の目安

2. JICWELSによる学習支援

1. 『標準的な学習プログラム及び研修の手引き』

1-1. 特徴

1-2. 『標準的な学習プログラム』での就労年数毎の学習目標・内容

1-3. 受入れ施設による研修へのかかわり方のポイント

1-4. 学習時間の目安

2. JICWELSによる学習支援

『標準的な学習プログラム及び研修の手引き』



『標準的な学習プログラム及び研修の手引き』 特長

- 対象：受入れ施設研修指導者、候補者等
- 主な特長：
 - 1) 就労年数ごとに段階的な学習目標と学習内容を設定
 - 2) 候補者が主体的に学習に取り組めるプログラム（自己学習の習慣化）
 - 3) 受入れ施設による候補者の学習へのかかわり方を提示
 - 4) 日々の介護現場の仕事を通した介護専門学習を体系化
 - 5) 学習プログラムの作成・実施に役立つ以下の情報を具体的に提示
 - ・学習時期、到達目標
 - ・学習内容、学習時間の目安
 - ・候補者の学習方法、研修指導者のかかわり方、等

『標準的な学習プログラム』 就労年数毎の学習目標と内容

- 就労年数ごとに段階的な学習目標や内容を設定。
- 1～2年目の基礎力の習得が、3年目の学習成果につながる。

	就労年数		
	1年目	2年目	3年目
学習目標	・介護の日本語力（漢字語彙、読解）の習得 ・介護の知識・技術の習得 ・国試対策学習への準備	国試の基礎知識の習得 （国試の傾向、出題科目の全体像等）	合格を目指した本格的な受験対策学習 （得意・苦手分野学習、過去問、模擬試験、予想問題等）



介護福祉士国家試験受験



各就労年数でのJICWELSによる学習支援等

就労開始から受験までの段階的な学習内容・学習支援（概要）

就労年数	介護の知識・技術 (国試対策)	介護の日本語	学習支援等
1年目	【OJTを通じた学習】 1. 介護施設の雰囲気慣れる 2. 職員構成を業務内容と共に理解する 3. 利用者の疾患をはじめとする状態を理解する	1. 基礎漢字・カタカナ語及び文法の復習 2. 介護の頻出漢字と語彙の習得 3. 読解力・速読力の養成 4. 国試頻出漢字・語彙等の習得 5. 日本の社会、高齢者、介護等の全体像の理解	・日本語習熟度テスト等の実施（就労開始時） ・学習教材の提供 ・介護の漢字試験、通信添削指導の実施 ・研修好事例等の提供
2年目	・国試出題範囲の基礎知識を習得する		・集合研修の実施 ・国家試験対策動画講義の提供
3年目	1. 国試出題範囲の基礎知識の確立と総合的な理解力の養成 2. 介護技術講習会の受講（※）による生活支援技術の獲得 3. 国試問題に対する解答力とスピード力の養成／候補者各自の学びの確認と、得意科目と不得意科目の把握 4. 心身の健康維持に努める		・学習相談窓口による学習相談 ・（都道府県を通じた）施設での研修経費への助成、等

介護福祉士国家試験受験

（※）EPA介護福祉士候補者は、平成28年度以降の介護福祉士国家試験について、実務者研修の受講は不要ですが、現行の法令上、実技試験は免除されておりませんので、実技試験の受験又は介護技術講習会の受講が必要となります。

受入れ施設の研修へのかかわり方のポイント（１）

（１）研修指導者が候補者の学習にかかわる時間を確保する。

- ・かかわる時間が、候補者との信頼を深める。
- ・研修指導者の役割＝**「舵取り役」**（候補者の学習の方向付けをする等）
（例）
 - ・JICWELSからの情報を候補者、外部講師等と共有
 - ・学習進捗状況の確認・評価、候補者と面談し振り返る
 - ・候補者の質問・悩みへの対応（JICWELS学習相談窓口等を活用）

（２）介護行為の根拠を学べる学習環境をつくる。

- ・毎日の介護現場は、介護知識・技術の学びの場
- ・「なぜこの利用者にはこの介護が必要なのか」等も教えることで、候補者の記憶に残りやすく、就労2、3年目の専門学習に生きる。

受入れ施設の研修へのかかわり方のポイント（２）

（３）定期的に学習計画を見直す。

- ・学習進捗状況の把握方法：

【JICWELS学習支援の例】

- ・漢字統一試験、通信添削、模試等の成績
- ・候補者の自己学習チェックシートの学習記録
- ・計画の見直しには、JICWELS学習相談窓口も活用

（４）研修指導者の負担を分担する。

- ・「労務」「生活指導」「研修指導」等と分担し担当者を決める。
- ・担当者の定例会議により、候補者の学習状況等を共有する。

受入れ施設の研修へのかかわり方のポイント（３）

（５）外部講師等に依頼する場合の留意点

- ・外部に任せたままで、施設側が学習状況を把握していないケースも。
- ・外部との連絡担当者を配置する等、学習状況を把握できる体制をつくる。

（６）候補者のメンタルケアに配慮する。

- ・遠慮しがちな候補者のメンタル面は把握しづらいことも。
- ・日々の声かけ、定例面談などで、候補者との信頼を深める。

（７）就労３年目の後半は、学習時間が確保できるようにシフト等を配慮する。

学習時間の目安（１）

【学習時期と学習時間※注の例】（※毎日学習時間を設定した場合）

学習時期	留意点	学習時間の例
①就労１年目	・学習時間の確保は、勤務形態により、毎日でもまとめて確保してもよい。 ・机上の学習よりも、日々の介護業務を通して知識、技術を習得することに重点を置くとよい。	１時間／日
②就労２年目	・国家試験の基礎知識の習得のため、学習時間の確保は、勤務形態により、毎日でもまとめて確保してもよい。 ・日々の介護業務を通じた指導も取り入れるとよい。	１時間／日

※注 学習時間 ＝ 受入れ施設が設定し研修指導者が直接かかわる時間

学習時間の目安（２）

【学習時期と学習時間の例】（※毎日学習時間を設定した場合）

学習時期	留意点	学習時間の例
③就労３年目	国家試験受験学習の１年であるため、合格に向けて学習時間がしっかり確保できるように勤務体制にも配慮。	○就労３年目前半 1.5時間／日 ○就労３年目後半 2時間／日
④国家試験直前 １か月前 ～前日	・集中して長時間の学習時間の確保ができるように勤務体制等を配慮。 ・年休などをこの時期の学習時間に充てる候補者もいるので、学習計画を立てる際に、学習時間の確保についても候補者とともに検討する。 ・候補者は、仕事以外は、ほぼ学習に充てる。	集中した時間の確保目安としては模擬試験１回分

1. 『標準的な学習プログラム及び研修の手引き』

1-1. 特徴

1-2. 『標準的な学習プログラム』での就労年数毎の学習目標・内容

1-3. 受入れ施設による研修へのかかわり方のポイント

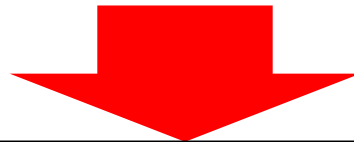
1-4. 学習時間の目安

2. JICWELSによる学習支援

JICWELSによる学習支援

効果的な就労・研修のポイント・・・

- 候補者の自己学習の習慣化
- 受入れ施設による候補者の学習への積極的なかわり



これらを支援するため、
学習教材・通信添削指導・集合研修・動画講義等を
連動させた総合的な学習プログラムを提供

JICWELSによる主な学習支援

	学習支援内容（※1）	対象候補者		
		1年目	2年目	3年目
1	『標準的な学習プログラム及び研修の手引き』の提供（※2）	●	●	●
2	介護の日本語、国試対策学習教材の配布（※3）	●	●	●
3	（就労開始前）日本語統一試験の実施	●		
4	漢字統一試験等の実施	●		
5	通信添削指導の実施	●	●	●
6	集合研修（模擬試験含む）の実施	●	●	●
7	合格者の学習好事例のWeb配信	●	●	●
8	学習の進め方オリエンテーション動画、 国試対策動画講義のWeb配信	●	●	●
9	自己学習チェックシートの提供（※4）		●	●
10	チャレンジ問題メール等の配信		●	●
11	学習相談窓口の設置	●	●	●

（※1）学習支援内容の一部は、2018年度厚労省委託事業「EPA外国人介護福祉士候補者学習支援事業」に基づきます。2019年度以降の支援内容等は、事業の受託状況等により変更される可能性があります。

（※2）JICWELSホームページの受入れ施設専用ページからのダウンロードにより提供致します。

（※3）候補者には教材の種類により「介護導入研修期間中の配布」、「受入れ施設への発送」により提供致します。

（※4）候補者には受入れ施設に教材を発送する際に同封致します。

就労1年目対象 漢字統一試験等（1）

1. 日本語統一試験

- ・目的等：就労開始時の国家試験学習に対応する日本語力を測る。
試験後、成績表と就労開始後の学習アドバイス等を提供。
- ・時期等：介護導入研修期間中。試験時間60分間。
- ・試験内容：「漢字と漢字の言葉」「初級文法」「読解」

2. やさしい漢字とカタカナ語試験

- ・目的等：教材「看護・介護の言葉と漢字ワークブック
（やさしい漢字とカタカナ語）」の習得度合いの確認。
試験後、成績表と学習アドバイス等を提供。
- ・時期等：2019年1月下旬～2月上旬。試験時間45分間。
- ・出題範囲：「看護・介護の言葉と漢字ワークブック（やさしい漢字とカタカナ語）」
全範囲

就労1年目対象 漢字統一試験等（2）

3. 漢字統一試験

- ・目的等：教材「介護の言葉と漢字ハンドブック」「ワークブック」の習得度合いの確認。試験後、成績表と学習アドバイス等を提供。
- ・時期等：全4回（2019年4、6、8、10月）、再試（11月）。
試験時間：第1～3回 30分、第4回・再試 45分
- ・試験内容：
 - 第1回：「介護の言葉と漢字ハンドブック・ワークブック」 第1～4章
 - 第2回：「 〃 」 第5～7章
 - 第3回：「 〃 」 第8～9章
 - 第4回・再試：「 〃 」全範囲

JICWELS学習支援 受入れ機関（施設）へのお願い

1. JICWELSからのご連絡について

集合研修のご案内など、学習支援の情報は、JICWELSに登録された学習支援担当者様に、電子メールでご連絡致します。（基本的にJICWELSから候補者に直接連絡をすることは致しません。）

JICWELSからの情報は、担当者様から候補者、外部講師等へ提供をお願い致します。

2. JICWELSからの配布教材について

候補者への配布教材は、配布時期にJICWELSから受入れ施設様宛に、候補者人数分をまとめて発送致します。

教材が届きましたら、候補者へお渡しください。

3. 漢字統一試験等へのご協力

漢字統一試験や通信添削試験は、JICWELSから受入れ施設に試験問題冊子を郵送し、施設にて試験を実施頂きます。

試験実施の際は、試験時間の確保、職員の方の試験の立ち合い等のご協力をお願い致します。

4. 集合研修について

集合研修は、候補者が日々の自己学習を深めるための貴重な機会です。候補者が集合研修に参加できるようシフト等の配慮をお願い致します。

參考資料

【参考資料】

就労1年目対象 通信添削指導（予定）

1. 介護の言葉と漢字 国家試験対策ウォーミングアップ試験

- ・目的等：教材「介護の言葉と漢字 国家試験対策ウォーミングアップ」の習得度合いの確認。試験後、成績表と学習アドバイス等を提供。
- ・時期等：全1回（2019年12月）。試験時間：40分
- ・試験内容：「介護の言葉と漢字 国家試験対策ウォーミングアップ」全範囲

2. 始めよう！介護福祉士国家試験対策試験

- ・目的等：教材「始めよう！介護福祉士国家試験対策」の習得度合いの確認。試験後、成績表と学習アドバイス等を提供。
- ・時期等：全1回（2020年3月）。試験時間：60分
- ・試験内容：「始めよう！介護福祉士国家試験対策」全範囲